

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	管理栄養士活動論				授業形態		講義		
科目コード	306210	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	生地 暢、木村 志緒、長友 多恵子、村上 真珠美、棚町 祥子、竹元 明子、田中 貴絵、原口 直樹								ICT活 用
授業概要	管理栄養士の活動の場は病院、事業所、福祉施設、地域（在宅）などにおける健康の維持・改善あるいは疾病の予防・悪化防止を図ることが期待されている。 専門職として社会から期待される管理栄養士になるための心構えと自覚を高めることを目的とする。 学科担当教員と就職課との連携により外部講師による講義・演習を行う。								
関連する科目	フレッシュマンセミナー、キャリア入門を履修前に受講しておくことが望ましい。								
授業の進め方 と方法	就職課や関係機関と連携を取りながら進める。 講師によって授業の進め方が異なる。								
授業計画 【第1回】	ガイダンス（学科長・就職課） 本授業のオリエンテーションを行うとともに、就職活動ガイダンスを行う。								
授業計画 【第2回】	自己分析・自己PR対策（就職課） 就職活動で履歴書作成は重要な事項である。その際に必要な自己分析および自己PRについて学ぶ。								
授業計画 【第3回】	採用試験対策①-1（就職課） 採用試験として多く用いられているSPI模擬試験を行う。								
授業計画 【第4回】	採用試験対策①-2（就職課） SPI模擬試験の結果解説および活用方法を学ぶ。さまざまな採用試験で用いられる筆記試験について学ぶ。								
授業計画 【第5回】	地域（医療）で働く管理栄養士の役割（管理栄養学科教員） 地域（医療）での役割、関連職種との関わり、チーム医療について学ぶ。								
授業計画 【第6回】	行政分野で働く管理栄養士の役割（管理栄養学科教員） 行政分野での役割、関連職種との関わりについて学ぶ。								
授業計画 【第7回】	給食施設現場での管理栄養士の役割（管理栄養学科教員） 給食施設現場での役割、関連職種との関わりについて学ぶ。								
授業計画 【第8回】	医療施設、福祉施設で働く管理栄養士の役割（管理栄養学科教員） 医療施設、福祉施設での役割、関連職種との関わり、チーム医療について学ぶ。								
授業計画 【第9回】	多職種との連携・多職種への理解（管理栄養学科教員） 各現場での多職種との連携の取り方、多職種の業務について学ぶ。								
授業計画 【第10回】	法令に定められた管理栄養士の役割と業務（管理栄養学科教員） 法律と政令、省令、栄養士法、健康増進法、その他の法令について学ぶ。								

授業計画 【第11回】	専門職としての職業観・倫理観（管理栄養学科教員） 基本的な責務、職業倫理、社会的責務について学ぶ。
授業計画 【第12回】	就職活動直前対策①（就職課） 就職活動のスタートが直前になっている時期に、就職活動における重点項目について確認する。
授業計画 【第13回】	就職活動直前対策②（就職課） 就職活動のスタートが直前になっている時期に、就職活動における重点項目について確認する。
授業計画 【第14回】	就職活動のマナーと求人票の見方（就職課（ハローワーク）） 就職活動において知っておくべきマナーを学ぶ。
授業計画 【第15回】	知っておきたい働くときの基礎知識（就職課（宮崎県社会保険労務士会）） 労働契約・就業規則・労働基準法・社会保険・労働保険・年金に関する基礎知識について学ぶ。
授業の到達目標	管理栄養士として食と栄養に関する知識・技能、幅広い教養を修得し、地域・関係組織の課題解決に向けた計画・実行ができる能力、社会経済、保健医療福祉制度、食環境などの多様な背景を理解し、地域・関係組織に対して貢献することができる能力を身につける。生命への尊厳や職業に対する倫理観を備え、人々の生活背景や価値観を尊重しより良い食生活の意思決定を支援できる能力を養う。講義、自己分析により進路を定める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	基礎科目・専門科目の中で得意科目を再度学習する。（1時間）
授業時間外学習【復習】	分野によりレポートを作成する。（2時間）
課題に対する フィードバック	SPI（性格）テスト結果等は返却する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 受講態度・学習意欲(20点) レポート・課題(80点)
テキスト	必要に応じて資料を準備、配布する。
参考書	なし
備考	